

令和 7 年 2 月定例会

予算決算委員会資料
(保 健 所)

遠隔医療推進事業費補助金について

1 事業概要

遠隔医療を推進し、市内の医療機関が少ない地域等での医療提供体制の強化を図るため、秋田大学医学部附属病院が運用している遠隔医療システム搭載車両の医療機器等の整備に要する費用を支援する。

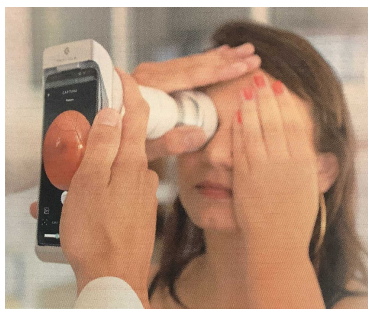
2 事業費

遠隔医療推進事業費補助金 5,616千円

- ・交付先
秋田大学医学部附属病院
- ・補助金の対象
遠隔医療システム搭載車両の医療機器等
- ・補助率
10/10
- ・財源
事業費全額に物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を充当

3 医療機器等の概要・事業費詳細

- (1) 携帯型眼底撮影装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1,500千円
眼底検査を行う携帯型の眼底カメラであり、網膜に影響を及ぼす疾患の発見と病状評価が可能
- (2) 携帯型体表撮影装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 207千円
診療に特化した高性能のデジタルカメラであり、皮膚の悪性腫瘍や湿疹などの皮膚疾患だけでなく、血栓性静脈炎などの血管疾患、放射線治療後の皮膚障害に関する評価と経過観察が可能
- (3) 全自動血球計数測定装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2,900千円
赤血球や白血球の数と質的検査を行うものであり、栄養障害、感染症、血液疾患、悪性腫瘍に対する化学療法後の全身状態把握が可能
- (4) 救急セット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 606千円
喉頭鏡（エアウェイスコップ）やアンビューバッグ等救急蘇生器具一式であり、患者急変時の気道確保や呼吸維持等の対応が可能
- (5) 可搬式簡易スロープ等・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 403千円
公共施設等を受付・待合室などで使用する際に、玄関等室内に段差があっても車いす患者の移動が可能



(1) 携帯型眼底撮影装置



(2) 携帯型体表撮影装置



(3) 全自動血球計数測定装置



(4) 救急セット



(5) 可搬式簡易スロープ

4 本市が支援を行う理由

岩見三内地区で診療を実施する中で、高齢で複数の疾患を合わせ持った患者が多く、通常の血圧・脈拍測定などの検査だけでなく、上記の疾患に係る検査を行い、医療を提供する必要性が認識された。そのため、今後の診療活動の拡大に合わせて、必要な医療機器等の調達を支援し、市民により良い医療を提供するもの。

5 今後の診療計画（予定）

対象地区	年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度以降
岩見三内地区			大学病院かかりつけ患者 3/20開始 月1～2回実施（12回、延べ19名）	大学病院かかりつけ患者＋一般（大学病院かかりつけ患者以外） 市内全体で最大週2回実施	
大正寺地区				大学病院かかりつけ患者→かかりつけ患者＋一般	
その他 （医療機関の少ない 地域）					大学病院かかりつけ患者 →かかりつけ患者＋一般